

大田区ヤングケアラー実態調査

報告書 概要版

調査の概要

【調査目的】

本調査は、年齢や成長の度合いに見合わない責任や負担を負うことで育ちや教育等への影響が危惧されるヤングケアラーへの支援を進めていくにあたり区内の実態を把握することを目的として実施した。

【調査対象者】

区立小学校（60校）在籍児童4～6年生全員

区立中学校（28校）在籍生徒1～3年生全員

高校生世代の区民（平成17年4月2日から平成20年4月1日生まれ）

【調査対象者】

小中学生：学校を通じて案内／高校生世代：郵送案内・いずれもWEB回収

【調査期間】

令和5年11月15日（水）～12月13日（水）

【回収状況】

調査	対象者数	有効回収数	有効回収率
小学生調査	14,642	2,281	15.6%
中学生調査	11,044	1,594	14.4%
高校生世代調査	15,386	2,443	15.9%

【国の調査結果と比較しているデータの出典】

- ・小学生（小学6年生を対象）

令和3年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書
（厚生労働省・文部科学省）

- ・中学生（中学2年生を対象）および高校生（全日制高校2年生から抜粋）

令和2年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書
（厚生労働省・文部科学省）

※国の調査と本調査では設問や選択肢の表現が一部異なることから、直接的な比較はできないことに留意する必要がある。

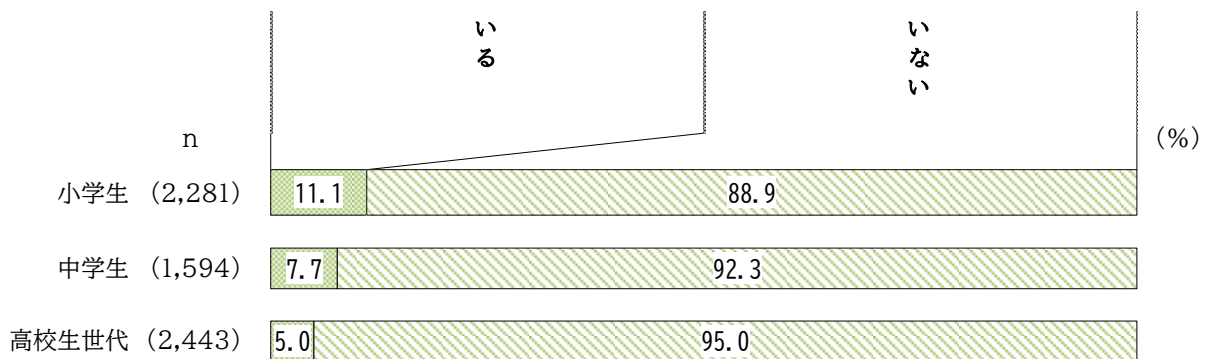
お世話の実態等

1 お世話をしている家族の有無

～お世話をしている家族が「いる」割合は国と比較して高い傾向～

◇お世話をしている家族が「いる」は小学生で11.1%、中学生で7.7%、高校生世代で5.0%となっている。

◇国の調査結果と比較すると、家族のお世話をしている割合は、小学生で区が国（6.5%）よりも4.6ポイント、中学生で区が国（5.7%）よりも2ポイント、高校生世代で国（4.1%）よりも1.1ポイント高くなっている。

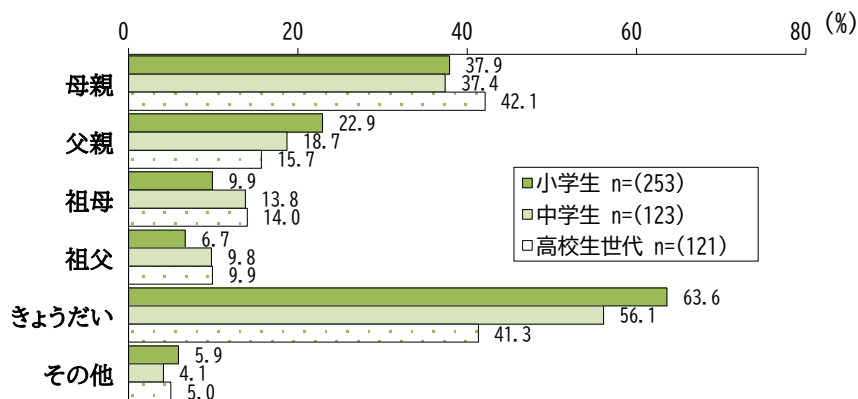


2 お世話を必要としている人

～「きょうだい」をお世話している人が多い傾向～

◇小学生、中学生では「きょうだい」5割以上で最も多く（小学生 63.6%、中学生 56.1%）、高校生世代では「母親」が42.1%、次いで、「きょうだい」が41.3%となっている。

◇国の調査結果と比較すると、「きょうだい」は区の方が割合が低く、「母親」、「父親」は区の方が高くなっている。

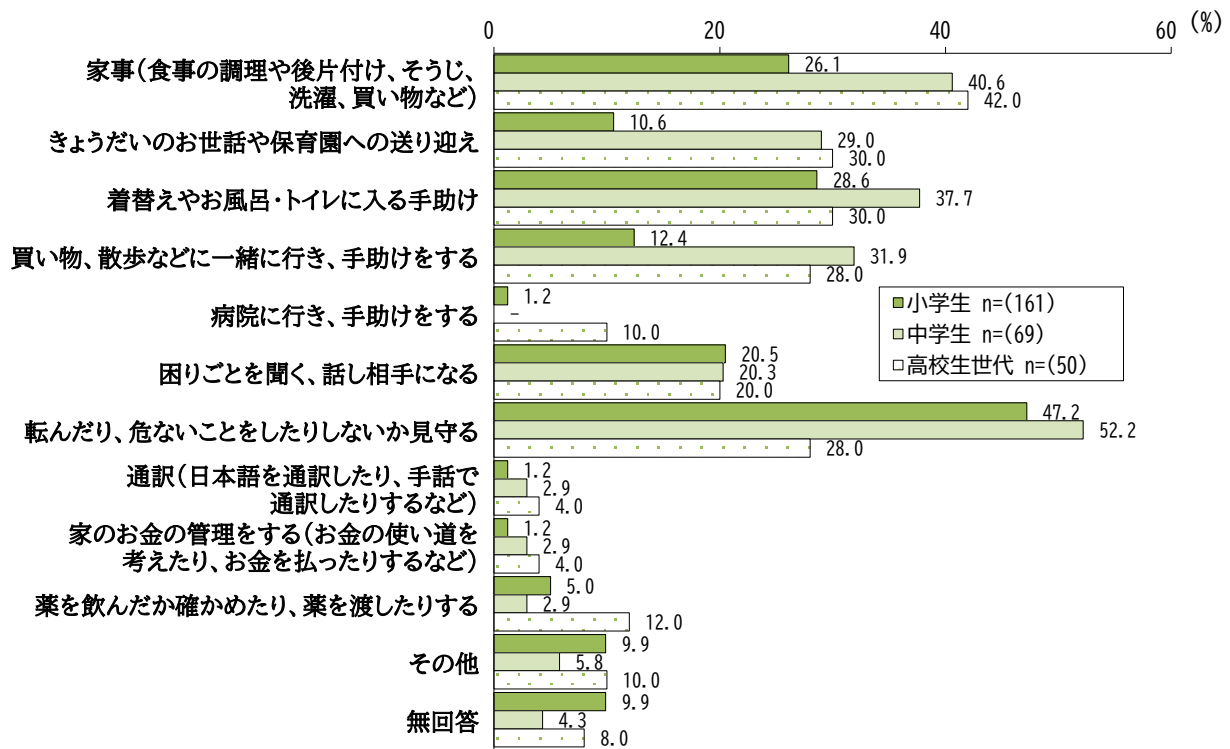


3 きょうだいへのお世話をしている内容

～小学生と中学生では「見守り」、高校生世代では「家事」が最も多い～

◇「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」が小学生で47.2%、中学生で52.2%と最も多くなっている。中学生と高校生世代で「家事（食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など）」が4割台、「着替えやお風呂・トイレに入る手助け」が3割台、中学生で「買い物、散歩などと一緒にいき、手助けをする」が31.9%と多くなっている。

◇国の調査結果と比較すると、中学生・高校生ともに「着替えやお風呂・トイレに入る手助け（国：身体的な介護）」が国よりも高くなっている。

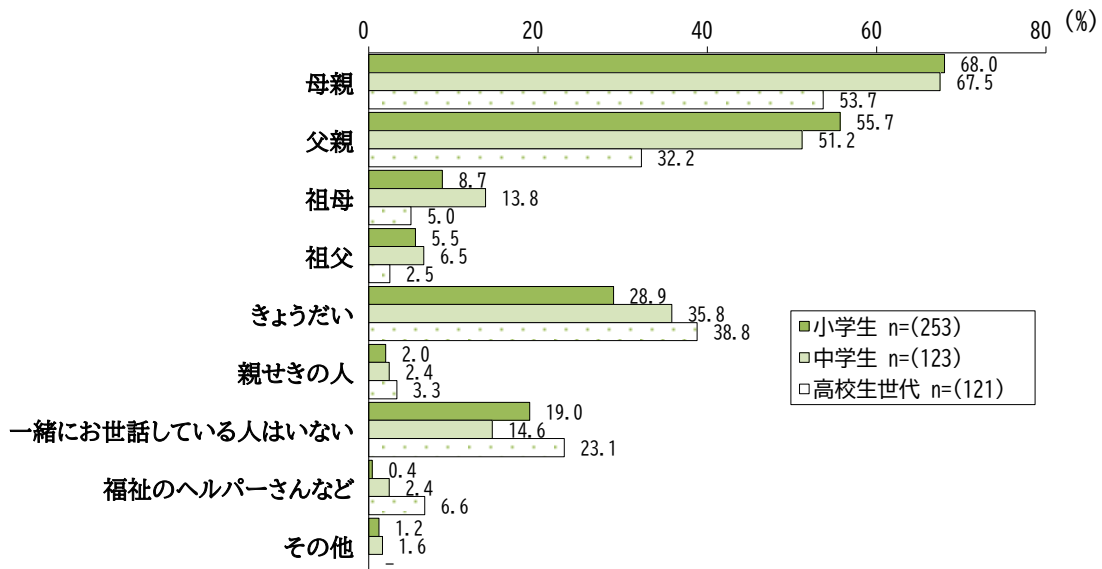


※小学生調査において、「きょうだい」へのお世話の内容は国と本調査で集計方法が異なるため比較をしない。

4 一緒にお世話をする人

～一緒にお世話している人がいない割合は国よりも高い傾向～

- ◇いずれの調査でも「母親」が5割から6割台で最も多く、「父親」が小学生で55.7%、中学生で51.2%となっている。
- ◇「きょうだい」が中学生で35.8%、高校生世代で38.8%とやや多くなっている。
- ◇「一緒にお世話している人はいない」は高校生世代で23.1%、小学生で19.0%、中学生で14.6%となっている。国の調査結果と比較すると、「一緒にお世話している人はいない」はすべての年代で区が国の割合を上回っている。(国の調査結果：小学生 10.6%、中学生 9.1%、高校生世代 23.1%)

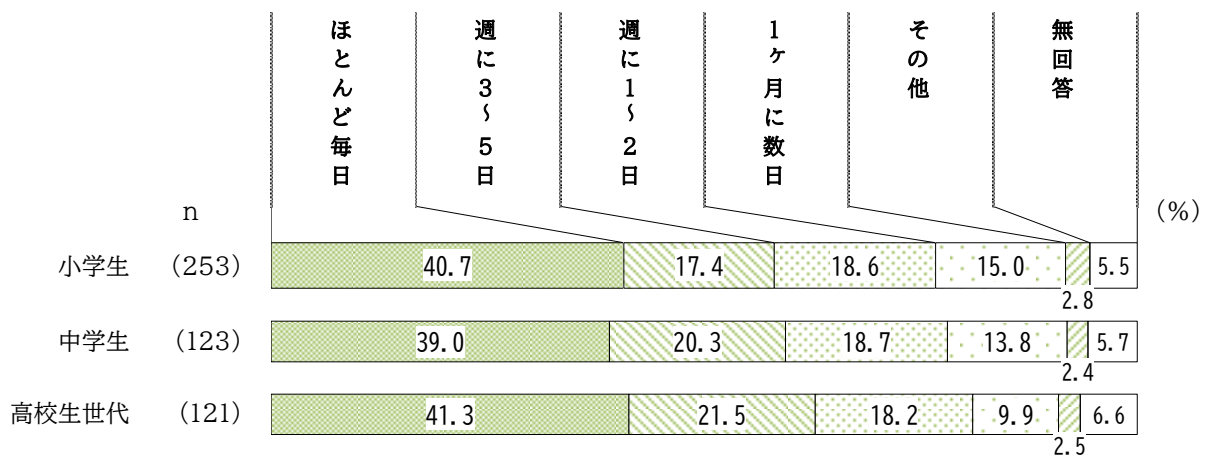


5 お世話をしている頻度

～「ほとんど毎日」お世話をしている人が3～4割台～

◇いずれの調査でも、「ほとんど毎日」が3割から4割台と最も多く、次いで、中学生と高校生世代で「週に3～5日」、小学生で「週に1～2日」の順となっている。

◇国の調査結果と比較すると、小学生、中学生、高校生世代すべての年代で「ほとんど毎日」は区が国（小学生 52.9%、中学生 45.1%、高校生世代 47.6%）よりも低くなっている。

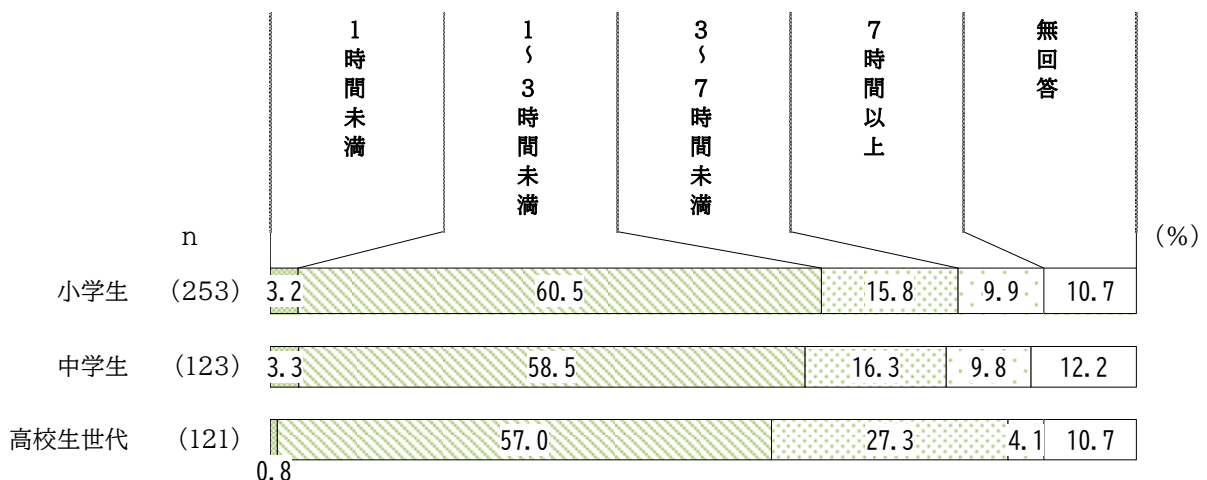


6 平日の一日あたりにお世話をする時間

～平日に「1～3時間未満」のお世話をしている人が5～6割台～

◇いずれの調査でも、「1～3時間未満」が5割から6割台と最も多く、次いで、「3～7時間未満」、「7時間以上」の順となっている。

◇国の調査結果と比較すると、すべての年代でお世話時間3時間未満の割合が国よりも高くなっている。平日の一日あたりのお世かに費やす時間は国よりも低い傾向にある。

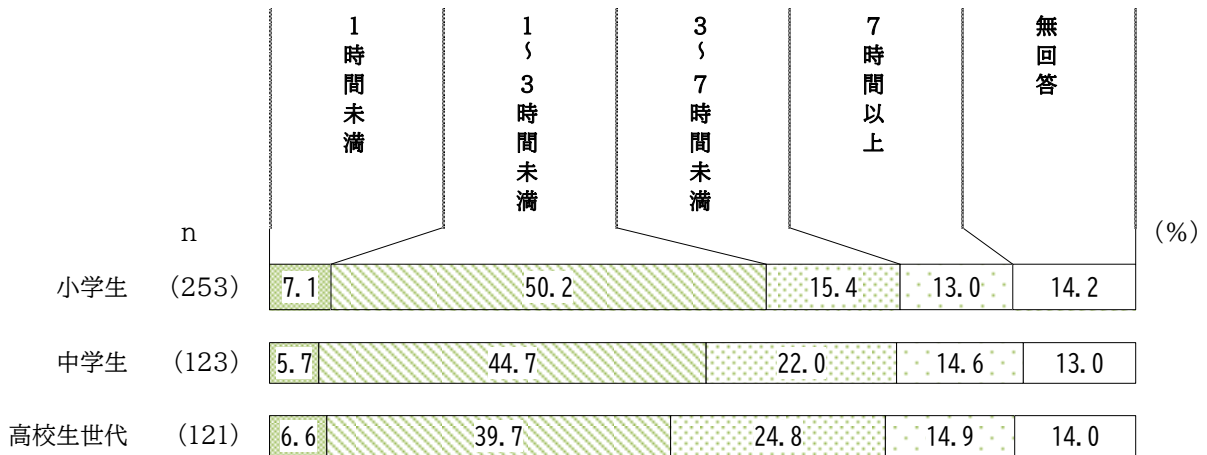


7

休日の一日あたりにお世話をする時間

～休日に「1～3時間未満」のお世話をしている人が3～5割台～

◇「1～3時間未満」が小学生で50.2%、中学生で44.7%、高校生世代で39.7%と最も多く、次いで、「3～7時間未満」が、小学生で15.4%、中学生で22.0%、高校生世代で24.8%となっている。

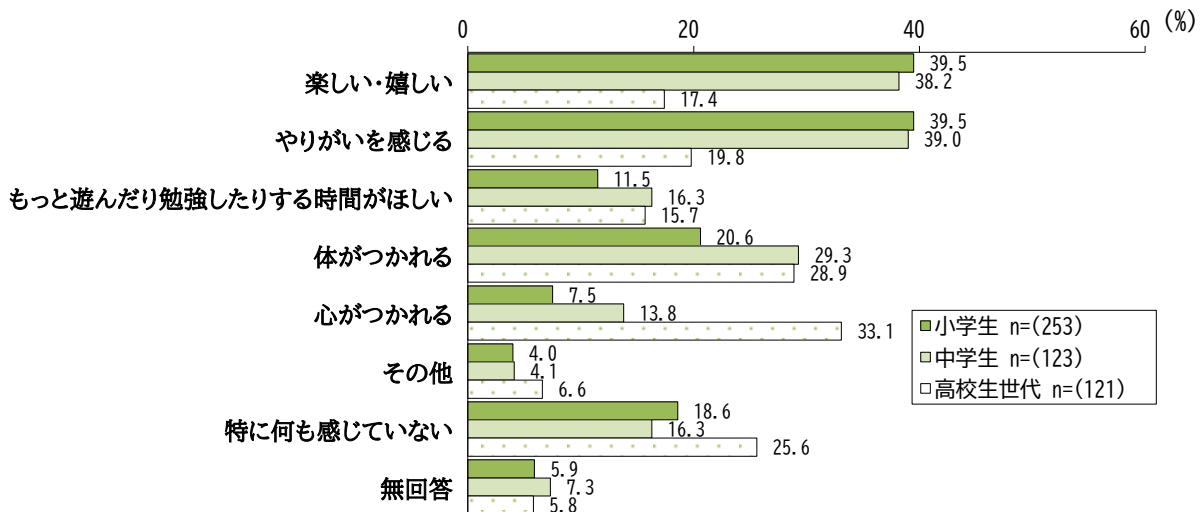


8

お世話をすることについて感じる事

～小学生と中学生では肯定的な意見、高校生世代では否定的な意見が多い～

◇小学生と中学生では、「楽しい・嬉しい」と「やりがいを感じる」がいずれも3割台と多く、高校生世代では「心がつかれる」が33.1%と最も多くなっている。「体がつかれる」は中学生で29.3%、高校生世代で28.9%と多くなっている。



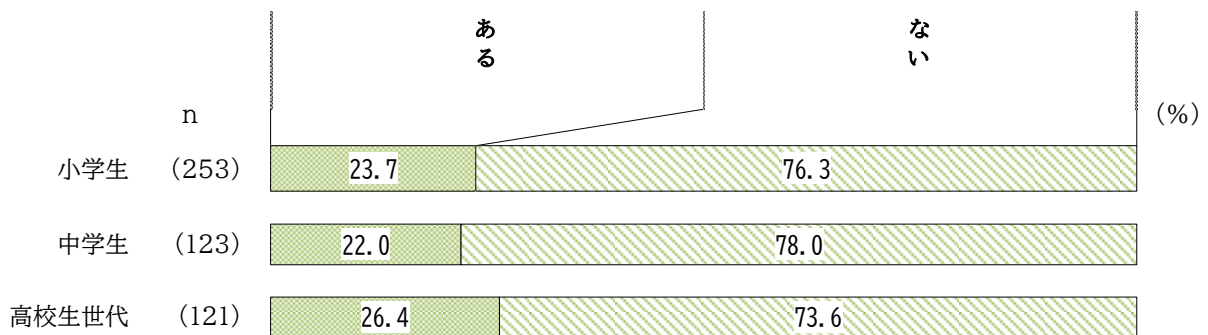
9 お世話の悩みを相談した有無

～相談経験がある人が2割台～

◇相談した経験が「ある」は小学生で23.7%、中学生で22.0%、高校生世代で26.4%となっている。

◇相談した経験が「ない」はいずれの調査でも7割台となっている。

◇国の調査結果と比較すると、小学生の相談した経験が「ある」は区が国（17.3%）よりも高くなっている。一方、中学生、高校生世代では、相談した経験が「ない」が国（中学生67.7%、高校生世代64.2%）よりも高くなっている。

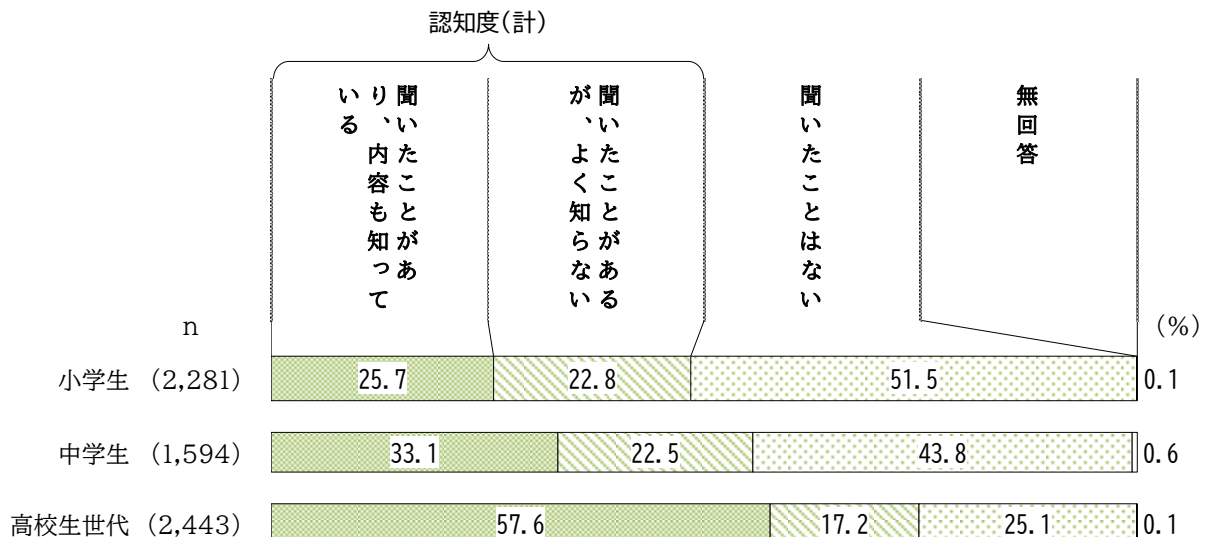


10 「ヤングケアラー」という言葉の認知

～半数以上の小学生が「聞いたことはない」～

◇「聞いたことがあり、内容も知っている」が高校生世代で57.6%を占めており、『認知度(計)』が小学生で48.5%、中学生で55.6%、高校生世代で74.8%となっている。

◇「聞いたことがない」が小学生で51.5%と多くなっている。

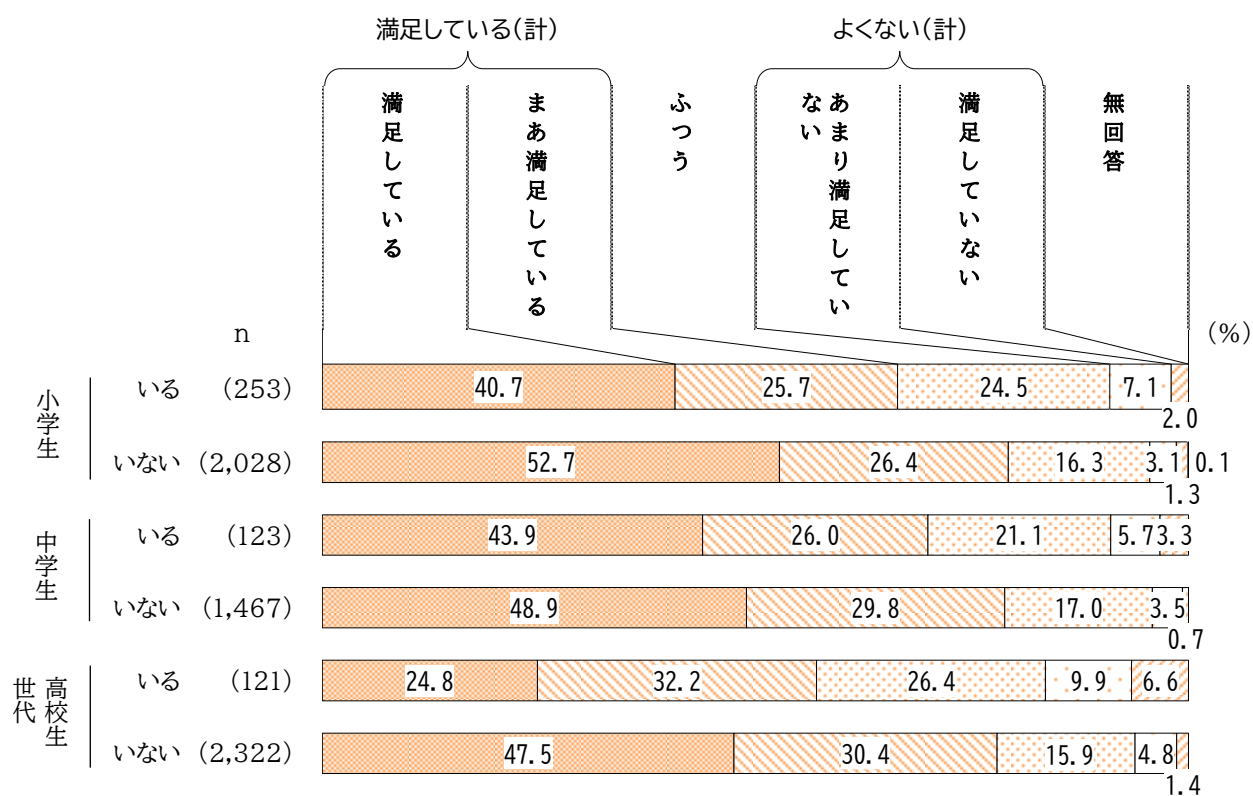


日常生活への影響

1 生活満足度とお世話をしている家族の有無

～お世話をしている家族が“いる”人は“いない”人に比べて
生活満足度が低い傾向がみられる～

◇生活満足度をお世話の有無別にみると、『満足している（計）』（「満足している」+「まあ満足している」）は、いずれの年代でも、お世話している家族が“いる”人は“いない”人に比べて生活満足度が低くなっている。

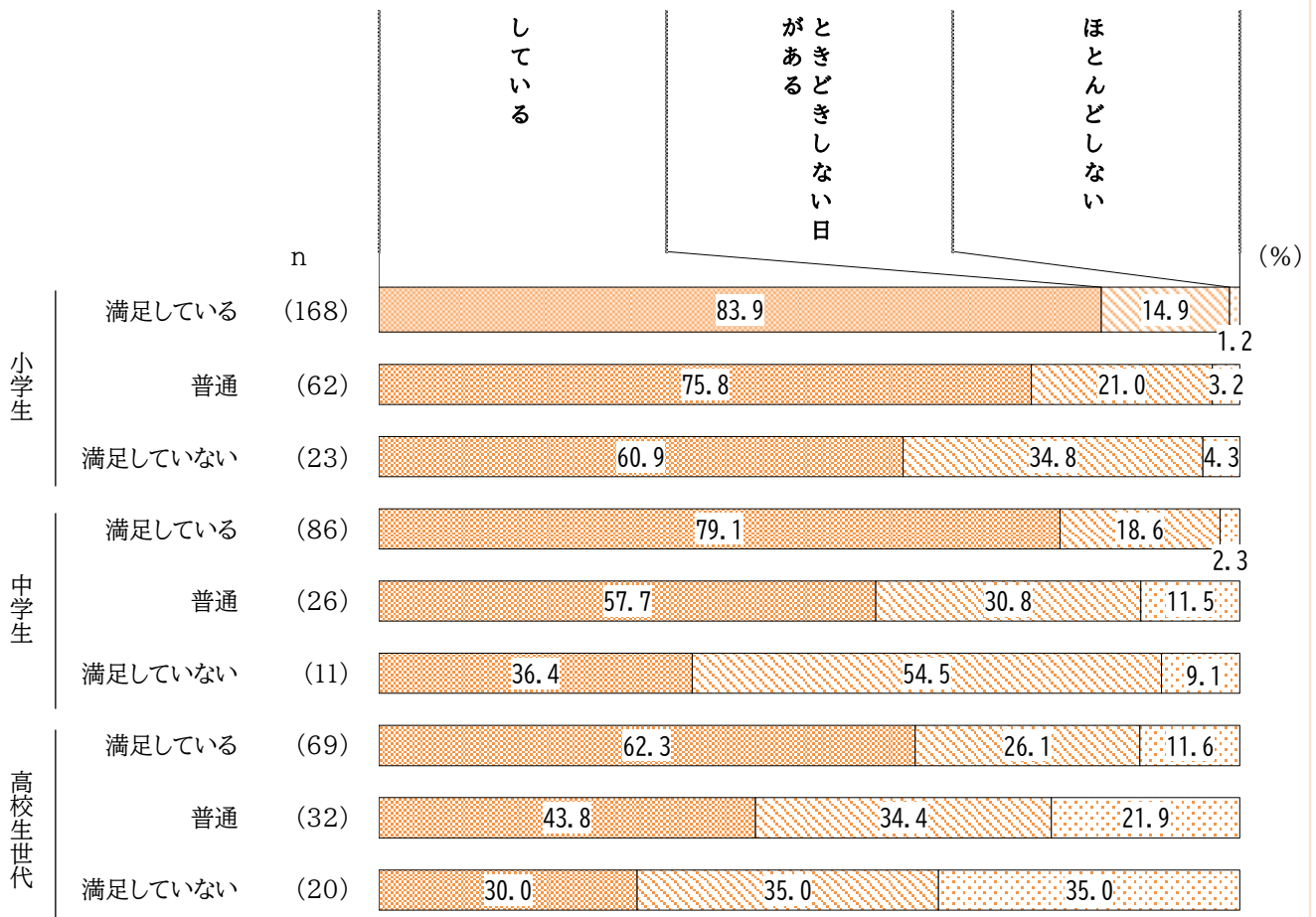


～お世話をしている家族が「いる」人の生活満足度別にみた結果～

2 お世話している家族が「いる」人の生活満足度と食事の状況

～生活満足度が低い人ほど1日3回の食事をしている割合が低い～

◇小学生、中学生、高校生世代すべての年代で、お世話している家族がいる中でも、生活満足度が低い人ほど1日3回の食事をしている割合が低く、小学生は6割台、中学生、高校生世代は3割台となっている。

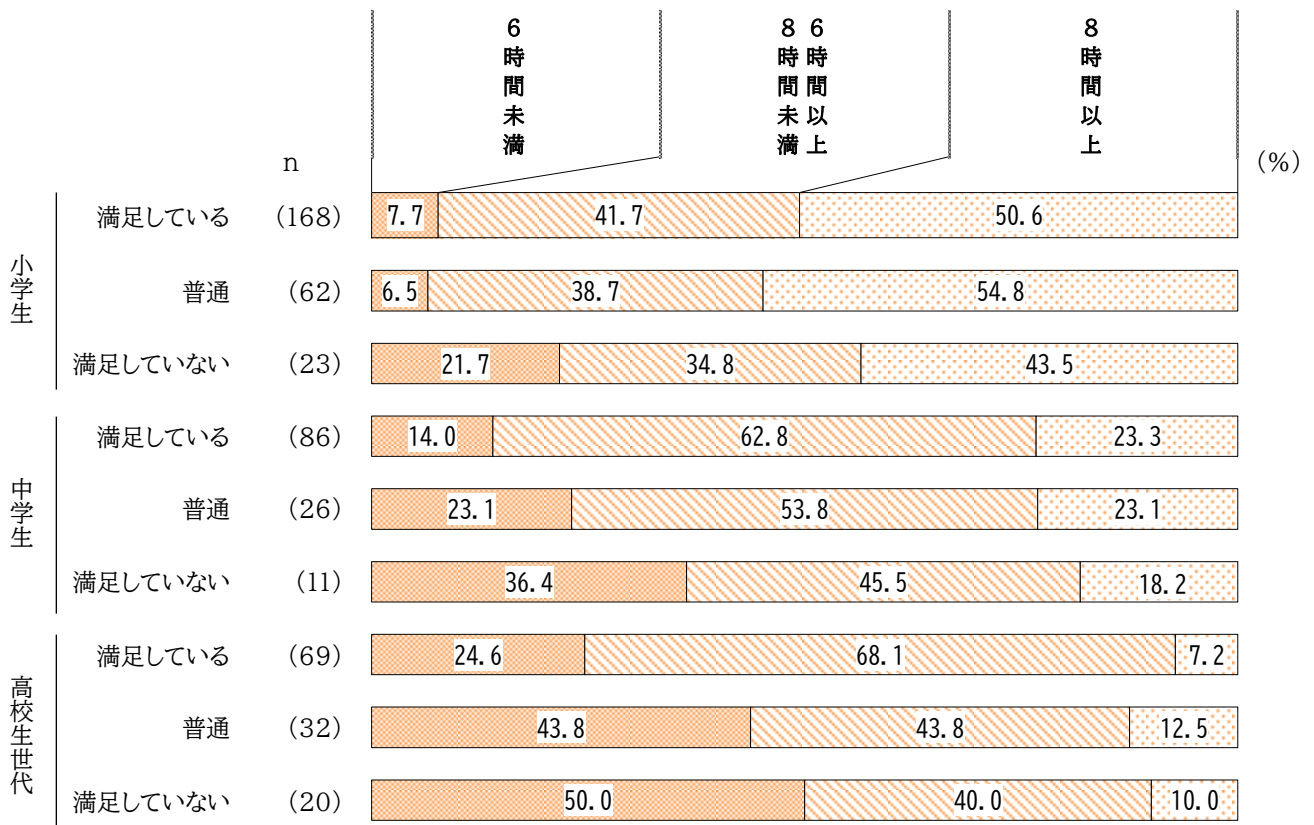


3

お世話している家族が「いる」人の生活満足度と平日の睡眠時間

～生活満足度が低い人ほど平日の睡眠時間が短い～

◇小学生、中学生、高校生世代すべての年代で、お世話している家族がいる中でも、生活満足度が低い人ほど平日の睡眠時間はおおむね短く、「6時間未満」は小学生で2割台、中学生で3割台、高校生世代で5割台となっている。

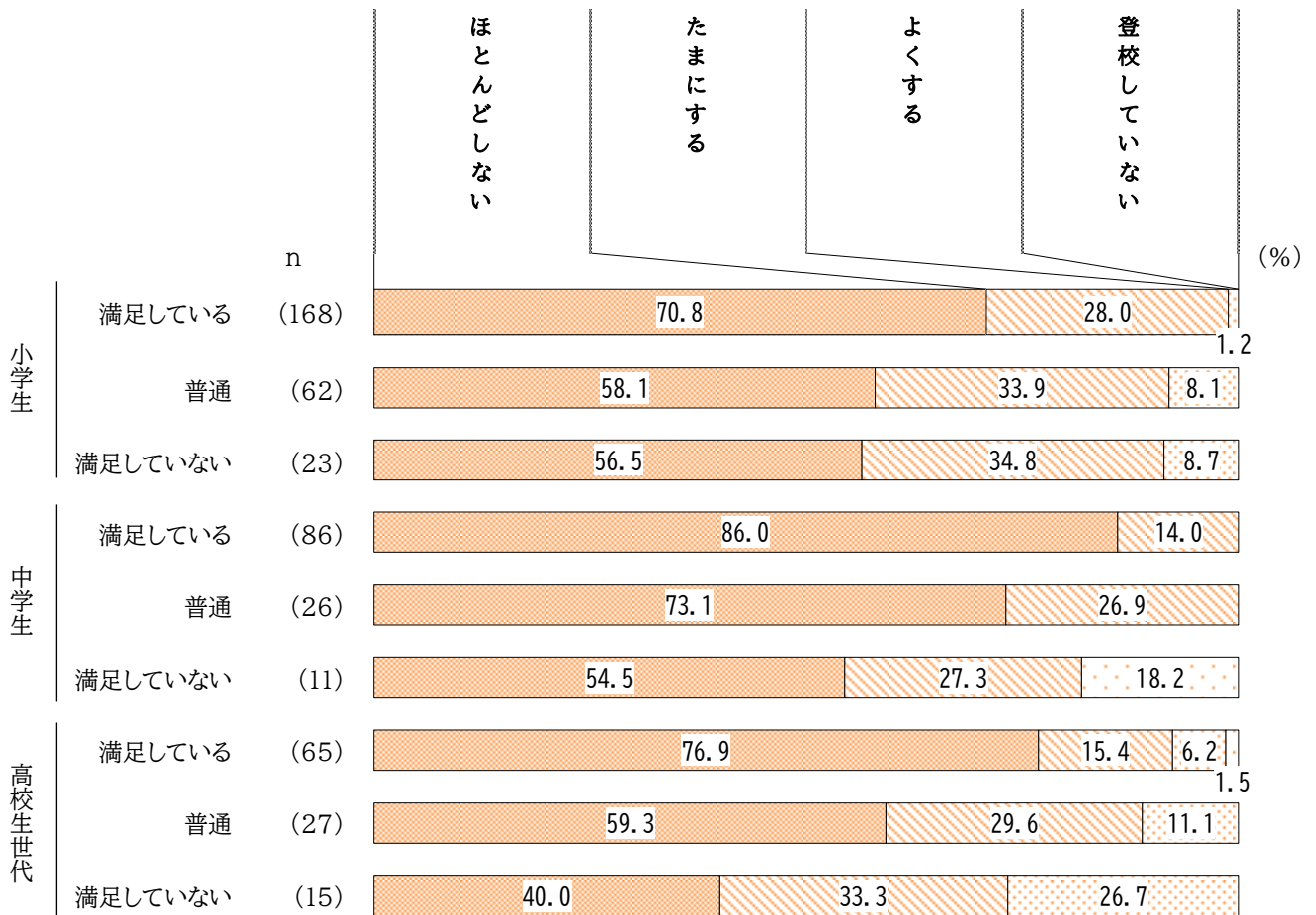


4

お世話している家族が「いる」人の生活満足度と欠席の状況

～中学生、高校生世代では生活満足度が低い人ほど欠席の割合が高い～

◇学校生活への影響として、お世話している家族がいる中でも、生活満足度が低い人ほど中学生と高校生世代では学校を欠席している傾向がみられる。高校生世代の生活に満足していない人では欠席を「ほとんどしない」が4割台と低くなっている。



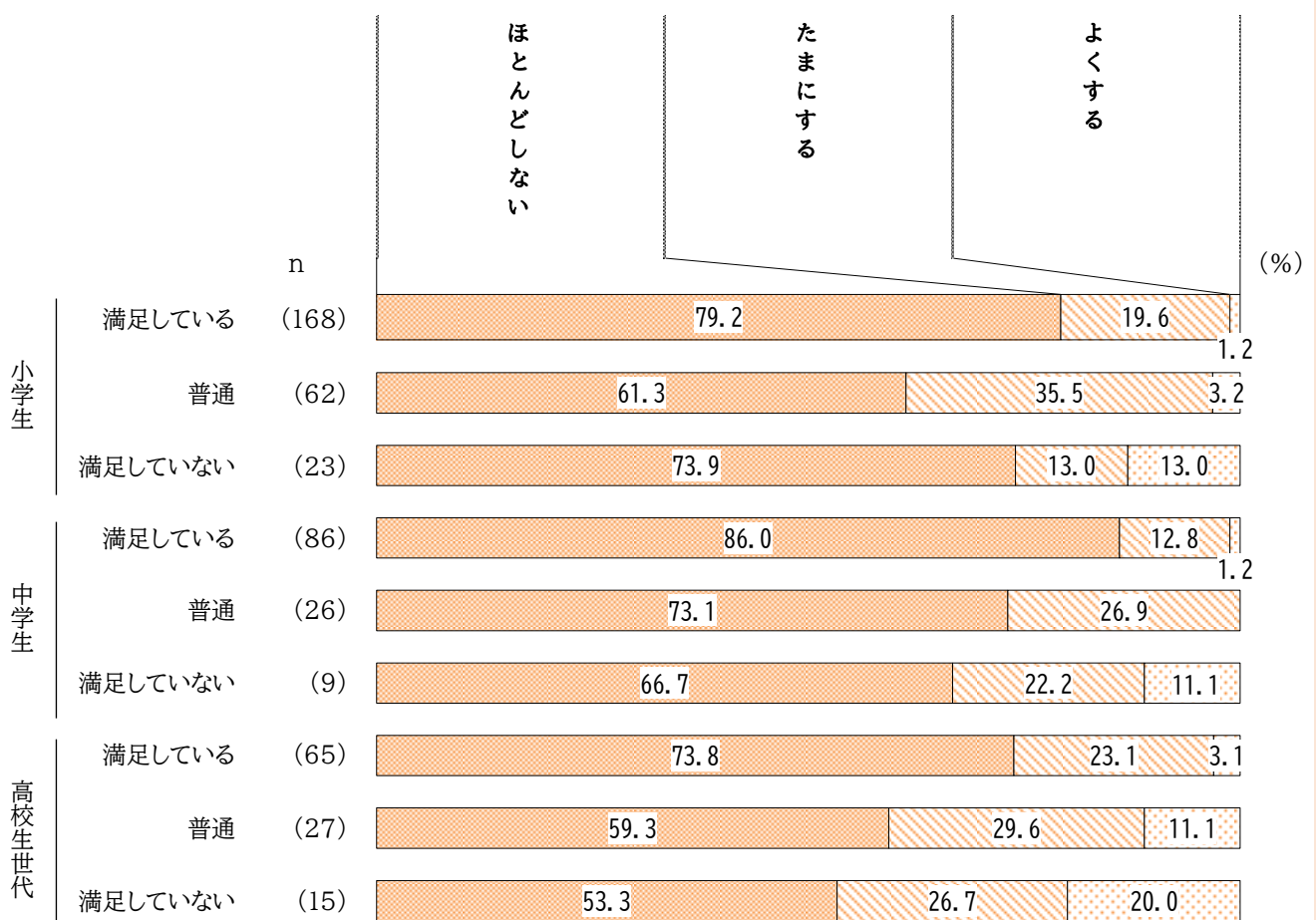
※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

5

お世話している家族が「いる」人の生活満足度と遅刻や早退の状況

～中学生、高校生世代では生活満足度が低い人ほど遅刻や欠席の割合が高い～

◇遅刻や早退の状況について、お世話している家族がいる中でも、生活満足度が低い人ほど中学生と高校生世代では学校を遅刻や早退している傾向がみられる。高校生世代の生活に満足していない人では遅刻や早退を「ほとんどしない」が5割台と低くなっている。



※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

6

生活満足度とお世話について感じること

～生活満足度が低い人ほどお世話について負担を感じる割合が高い～

◇今回の調査では、独自で「お世話をするについてどのようなことを感じているか」の設問の選択肢に肯定的なもの（「楽しい・嬉しい」「やりがいを感じる」）を追加し調査を行った。その結果、お世話している家族がいる人でも、肯定的にお世話している人と負担を感じてお世話している人がいることが分かった。

お世話について感じることを生活満足度別にみると、生活満足度が低い人ほどお世話について負担感のある割合が高く、満足度が高い人ほどお世話に肯定的な割合が高くなるといった相関関係がみられる。

(%)

		調査数	楽しい・うれしい	やりがいを感じる	もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい	体が疲れる
小学生	満足している	168	43.5	43.5	7.1	17.3
	普通	62	37.1	33.9	21.0	21.0
	満足していない	23	17.4	26.1	17.4	43.5
中学生	満足している	86	43.0	45.3	10.5	17.4
	普通	26	26.9	26.9	26.9	50.0
	満足していない	11	27.3	18.2	36.4	72.7
世代高校生	満足している	69	23.2	27.5	14.5	23.2
	普通	32	15.6	15.6	12.5	34.4
	満足していない	20	-	-	25.0	40.0

		調査数	心が疲れる	その他	特に何も感じていない	無回答
小学生	満足している	168	4.8	3.0	20.2	6.0
	普通	62	8.1	6.5	14.5	6.5
	満足していない	23	26.1	4.3	17.4	4.3
中学生	満足している	86	8.1	3.5	15.1	7.0
	普通	26	23.1	7.7	23.1	11.5
	満足していない	11	36.4	-	9.1	-
世代高校生	満足している	69	21.7	8.7	23.2	4.3
	普通	32	37.5	3.1	34.4	6.3
	満足していない	20	65.0	5.0	20.0	10.0

～お世話に負担感のある人の生活満足度別にみた結果～

- 生活満足度とお世話に負担感のある人の割合に相関関係がみられた。
- ここからは、お世話に負担感のある人で、生活満足度が低い人に着目して結果をみていく。
※調査数が少ないため、割合ではなく実数（回答した人数）に着目して結果を分析する。

7 お世話を必要としている人

～生活満足度が低い人では「きょうだい」をお世話している人が多い～

◇お世話に負担感のある人のうち、生活満足度が低い人は小学生、中学生、高校生世代すべての年代で、「きょうだい」をお世話している人が最も多くなっている。

◇高校生世代では「母親」も多くなっている。

		調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	(件)
小学生	満足している	34	4	4	2	3	27	2	
	普通	20	6	4	3	1	14	1	
	満足していない	13	4	2	2	1	6	1	
中学生	満足している	21	6	3	2	3	13	1	
	普通	13	6	4	1	1	8	0	
	満足していない	9	2	0	1	1	7	1	
高校生世代	満足している	28	12	6	6	5	10	0	
	普通	14	7	3	2	1	6	0	
	満足していない	14	5	2	1	1	6	2	

8

きょうだいへのお世話をしている内容

～生活満足度が低い人では「家事」などが多い～

◇きょうだいへのお世話をしている内容として、小学生、中学生、高校生世代すべての年代で「家事」が多くなっている。

◇小学生では「着替えやお風呂・トイレに入る手助け」、中学生では「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」、高校生世代では「買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする」、「きょうだいのお世話や保育園への送り迎え」も多くなっている。

(件)

		調査数	家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)	きょうだいのお世話や保育園への送り迎え	着替えやお風呂・トイレに入る手助け	買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする	病院へ一緒に行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になる
小学生	満足している	27	8	8	9	5	1	5
	普通	14	3	2	0	3	0	4
	満足していない	6	3	0	3	0	0	0
中学生	満足している	13	5	4	4	2	0	3
	普通	8	3	3	4	5	0	2
	満足していない	7	4	1	2	1	0	2
高校生世代	満足している	10	5	1	2	3	1	2
	普通	6	3	2	2	2	1	1
	満足していない	6	4	4	3	5	2	4

		調査数	転んだり、危ないことをしたりしないか見守る	通訳(日本語を 通訳したり、手話で通訳したりするなど)	家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど)	薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする	その他	無回答
小学生	満足している	27	16	1	1	0	5	0
	普通	14	7	0	0	1	2	1
	満足していない	6	2	0	0	1	1	1
中学生	満足している	13	9	1	1	0	0	0
	普通	8	8	1	0	2	0	0
	満足していない	7	5	0	0	0	1	0
高校生世代	満足している	10	3	1	1	1	2	0
	普通	6	2	1	0	0	1	0
	満足していない	6	3	0	1	2	1	0

9

お世話の悩みを相談した有無

～相談経験がない人が多い傾向～

◇お世話に負担感のある人のうち、生活満足度が低い人はお世話の悩みを相談したことが「ない」が多くなっている。

		調査数	(件)	
			ある	ない
小学生	満足している	34	11	23
	普通	20	3	17
	満足していない	13	4	9
中学生	満足している	21	5	16
	普通	13	5	8
	満足していない	9	3	6
高校生世代	満足している	28	11	17
	普通	14	2	12
	満足していない	14	6	8

10

お世話の悩みを相談していない理由

～「相談するほどの悩みはない」、「相談しても状況が変わるとは思わない」が多い～

◇お世話に負担感のある人のうち生活満足度が低い人で、お世話の悩みを相談したことが「ない」理由として、小学生、高校生世代では「相談しても状況が変わるとは思わない」、中学生では「相談するほどの悩みはない」が多くなっている。

		調査数	(件)				
			相談するほどの悩みはない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話したくないから	家族のこのため話にくい
小学生	満足している	23	14	0	3	1	
	普通	17	11	5	3	4	
	満足していない	9	1	2	2	2	
中学生	満足している	16	10	3	1		3
	普通	8	7	1	1		1
	満足していない	6	3	1	2		2
高校生世代	満足している	17	9	3	2		4
	普通	12	3	3	3		4
	満足していない	8	2	2	1		3

		調査数	(件)				
			家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わるとは思わない	その他	無回答
小学生	満足している	23			2	3	0
	普通	17			2	0	0
	満足していない	9			5	1	1
中学生	満足している	16	0	1	2	0	0
	普通	8	0	1	1	0	0
	満足していない	6	0	0	1	1	0
高校生世代	満足している	17	2	1	4	1	0
	普通	12	4	5	6	1	0
	満足していない	8	2	2	5	0	0

※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

11

ふだんの学校生活の状況

～生活満足度が低い人では「眠る時間が足りない」が多い～

◇お世話に負担感のある人のうち、生活満足度が低い人の学校生活での困りごとは、小学生、中学生、高校生世代すべての年代で「眠る時間が足りない」が最も多くなっている。

(件)

		調査数	学校を休むことが多い	眠る時間が足りない	授業中に居眠りすることが多い	学校を遅刻や早退することが多い	授業内容についていけない	宿題や課題ができていないことが多い
小学生	満足している	34	0	11	5	2	3	8
	普通	20	0	9	2	4	2	6
	満足していない	13	1	7	3	2	5	5
中学生	満足している	21	0	10	1	1	8	6
	普通	13	1	6	2	0	6	3
	満足していない	9	3	5	3	3	4	3
高校生世代	満足している	27	2	12	9	5	5	5
	普通	13	2	8	6	2	4	5
	満足していない	9	4	6	6	3	1	3

		調査数	持ち物の忘れ物が多い	部活動や塾、習い事を休むことが多い	部活動や塾、習い事をできない	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	別室(保健室など)で過ごすことが多い
小学生	満足している	34	8	0	1	8	0	0
	普通	20	11	1	3	6	0	2
	満足していない	13	7	2	1	7	0	1
中学生	満足している	21	6	1	0	6	0	0
	普通	13	4	1	1	2	0	1
	満足していない	9	2	1	1	3	1	3
高校生世代	満足している	27	5	1	0	1	0	0
	普通	13	1	2	1	4	0	0
	満足していない	9	1	1	0	3	0	0

		調査数	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	自分の時間がとれない	その他	あてはまるものはない	無回答
小学生	満足している	34	1	1	4	1	10	2
	普通	20	6	7	6	3	1	0
	満足していない	13	4	6	6	1	1	0
中学生	満足している	21	2	3	3	0	3	0
	普通	13	5	3	5	0	1	0
	満足していない	9	1	1	3	0	1	0
高校生世代	満足している	27	6	3	1	0	7	0
	普通	13	1	2	3	0	3	2
	満足していない	9	0	0	6	2	0	0

※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

12 現在の悩みごとや困りごと

～生活満足度が低い人では小学生は家庭環境、中学生は家族との関係、
高校生世代は進路、経済面、家庭内の悩みが多い～

◇お世話に負担感のある人のうち、生活満足度が低い人の現在の悩みや困りごとについて、小学生では「しかられること」、「友人との関係のこと」、中学生では「自分と家族との関係のこと」、高校生世代では「進路のこと」、「学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「自分と家族との関係のこと」、「家族内の人間関係のこと」が多くなっている。

(件)

		調査数	特にない	友人との関係のこと	SNSに関する こと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと
小学生	満足している	34	18	5	1	7		
	普通	20	6	7	0	5		
	満足していない	13	1	8	0	5		
中学生	満足している	21	6	9	0	8	5	2
	普通	13	1	3	0	8	9	2
	満足していない	9	0	2	1	3	4	1
高校生 世代	満足している	27	4	8	1	13	17	4
	普通	13	3	3	1	6	7	3
	満足していない	9	0	2	1	3	6	0

		調査数	学費(授業料) など学校生活 に必要なお金の こと	習い事のこと	塾(通信含む) や習い事ができ ない	生活や勉強に 必要なお金のこ と	家庭の経済的 状況のこと	自分と家族との 関係のこと
小学生	満足している	34		5		5		5
	普通	20		6		3		6
	満足していない	13		5		2		6
中学生	満足している	21	4		0		5	3
	普通	13	3		0		4	1
	満足していない	9	1		0		3	6
高校生 世代	満足している	27	5		0		7	7
	普通	13	3		0		6	4
	満足していない	9	6		0		5	5

		調査数	家族内の人間 関係のこと(両親 の仲が良くない など)	病気や障がい のある家族のこ と	自分のために 使える時間が 少ない	しかられること	その他
小学生	満足している	34			4	6	1
	普通	20			4	9	1
	満足していない	13			4	9	2
中学生	満足している	21	5	4	4	3	0
	普通	13	0	2	2	3	1
	満足していない	9	3	1	3	2	3
高校生 世代	満足している	27	3	5	2	1	0
	普通	13	2	3	4	0	0
	満足していない	9	5	1	3	2	0

※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

13

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

～生活満足度が低い人では「自由に使える時間がほしい」が多い～

◇お世話に負担感のある人のうち、生活満足度が低い人が周囲の大人に求める支援として、すべての年代で「自由に使える時間がほしい」が最も多くなっている。

◇中学生では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」、高校生では「進路や就職など将来の相談にのってほしい」も多くなっている。

(件)

		調査数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
小学生	満足している	34	5	2	2	2	0
	普通	20	6	4	0	3	2
	満足していない	13	5	2	0	0	0
中学生	満足している	21	5	3	3	2	0
	普通	13	4	0	1	0	0
	満足していない	9	3	1	0	0	0
世代 高校生	満足している	28	3	4	2	1	2
	普通	14	4	2	1	2	2
	満足していない	14	3	1	0	2	1

		調査数	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	家庭への経済的な支援をしてほしい	わからない
小学生	満足している	34	11		2	2	0
	普通	20	7		3	0	1
	満足していない	13	10		1	3	0
中学生	満足している	21	9	3	5	4	1
	普通	13	3	3	4	1	2
	満足していない	9	4	2	4	1	0
世代 高校生	満足している	28	3	3	3	9	3
	普通	14	3	4	3	6	3
	満足していない	14	7	6	5	5	1

		調査数	その他	特にない	無回答
小学生	満足している	34	16	3	0
	普通	20	5	4	0
	満足していない	13	0	2	0
中学生	満足している	21	0	6	1
	普通	13	1	3	0
	満足していない	9	0	2	0
世代 高校生	満足している	28	0	10	0
	普通	14	0	4	0
	満足していない	14	3	1	0

ヤングケアラーへの支援策

(1) こどもの負担を軽減するための方策

- 家族のお世話に負担を感じ、現在の生活に満足していないこどもが、必要としている支援として「自由に使える時間がほしい」との回答が最も多い。
 - こどもがお世話から解放されたり、お世話の時間を減らしたりするため、福祉サービス事業者等がお世話を代行することが考えられる。ただし、その導入にあたっては相談体制の中でこどもの真のニーズを丁寧に見極めることが重要となる。
- 「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」との回答が多い。
 - こどもの学習状況を最も把握しやすい学校には、ヤングケアラーと思われるこどもに寄り添い、学習の時間や必要なサポートを受ける機会を得られるよう、行政や関係機関への情報提供や橋渡しをすることが求められる。
- 「進路や就職など将来の相談にのってほしい」との回答が多い。
 - こどもが意に反して将来の可能性を狭めたり閉ざしたりすることがないように、希望を自由に表明し、自分に合った選択を周囲が後押しする環境を整えることが重要である。

(2) こども視点での相談体制の整備

- 家族のお世話に負担を感じ、現在の生活に満足していないこどもは、お世話の悩みを相談した経験がないこどもが多く、相談しない理由は「相談するほどの悩みはない」、「相談しても状況が変わるとは思わない」という認識をもつこどもが多い。
 - こどもたちの声を拾う第一段階として、「お世話に関する悩みは相談しても良い」または「相談すべきである」という考えをこどもたちの意識の中に醸成することが必要である。
- 自由意見の中では、相談場所の周知を求める声が多く挙げられる。
 - こどもたちがどこに相談すればよいのかを明確に示し、様々な媒体を活用してそれを周知すること、また、相談窓口の具体的な内容を周知することや、相談したら現状を変えるきっかけが掴めるかもしれないという期待を抱ける場所にしていく必要がある。
- 自由意見の中では、具体的な相談手段として、電話、SNS、インターネット上でのやり取り、メール、学校で支給されているタブレットなど、様々な声が挙げられる。
 - 多様なツールや手法を活用し、誰にとっても身近でアクセスしやすい相談窓口とすることが重要である。また、一度の相談では解消しきれない不安や悩みに伴走する相談支援の在り方を検討する。
※こどもからの自由意見については、報告書（全体版）の45～57ページに掲載

(3) 周囲の大人の気づきを促す方策

- 家族のお世話に負担を感じ、現在の生活に満足していないこどもは、自身がヤングケアラーに「あてはまらない」またはヤングケアラーであるかどうか「わからない」という回答が多い。
 - 周囲の大人がヤングケアラーの可能性が高いこどもに気づき、こども本人はもとより親に気づきや自覚を促すことが重要である。大人自身の意識と感度を高めていくため、学校、関係機関・団体など支援者となり得る対象に向けた研修・講習会のほか、各種イベントなど様々な機会をとらえた啓発ツールの配布や継続的な情報発信を行う必要がある。
- 現在の悩みごとや困りごととして「しかられること」、「自分と家族との関係のこと」、「家庭内の人間関係のこと」といった家庭のことで悩みを抱えるこどもが多い。
 - 家庭内での複雑化・複合化した福祉ニーズに対応するには重層的支援体制の中で解決を図ることが重要である。

大田区ヤングケアラー実態調査報告書（概要版） 令和6年3月

編集・発行 | 大田区 子ども家庭部 子育て支援課
〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
☎ 03-5744-1780（直通）